



令和6年度 川越北小学校学校づくりビジョン



教育目標 心ゆたかでたくましく、自ら進んで学ぶ意欲にあふれた子どもの育成

【めざす子どもの姿】

- 自分の考えをもつ子
- 自分を表現する子
- 人を大切にする子
- 挑戦する子
- 心身ともに健康でたくましい子

【めざす学校の姿】

- 友だちと学ぶことが楽しい学校
- 誰もが安心して過ごすことができる学校
- 保護者や地域とともにある学校
- 教職員が同僚とともに歩み、成長しあえる学校

【めざす教師の姿】

- 学力を高める授業を目指す教師
- 一人ひとりに寄り添い、もてる力を引き出す教師
- 自己研鑽を努め、保護者や地域から信頼される教師
- 同僚性を大切にし、ともに高め合う教師

6つの重点目標 と 具体的な取組事項

町の重点取組
『豊かな心』を土台とした学校教育の推進
☆ 5つの SHOW

◎は特に重点的に取り組む内容

① 確かな学力の向上 (授業力向上)

- ◎ 自ら進んで学ぶ子どもの育成
 - ・誰も取り残さない授業づくり (全員の授業・学習参加)
 - ・「学び合い活動」の推進 (自己形成サイクル)
 - ・対話的な学習による学習の深化の追求
 - ・少人数教育、習熟度別授業等の工夫改善
 - ・ICT (タブレット PC) 活用による学びの充実
- ◎ 基礎・基本的な学力の向上
 - ・できないまま終わらない答え合わせ、学び直しの充実
 - ・各種調査等による課題把握と指導方法の改善
 - ・朝の学習タイムの内容工夫改善
- ◎ 読書活動の推進
 - ・朝の読書・図書館まつりの実施・司書等との連携
- ◎ 家庭学習の定着と内容の充実



② 心の教育の充実

- ◎ 基本的な生活習慣の定着
 - ・学習・生活環境の整備
 - ・学校ルールの明確化と児童会による取組
 - ・あいさつ、会釈、その場にふさわしい言葉づかいの指導
 - ・情報モラル教育の充実
- ◎ 人権・同和教育、道徳教育の充実
 - ・ちがいを認め合う、いじめのないなかまづくり
 - ・自己肯定感の涵養
 - ・子どもの姿から出発した人権教育の実施
 - ・カリキュラムに基づいた系統的な人権教育の実施
- ◎ 教育相談の推進と問題行動の未然防止
 - ・きめ細やかな児童観察、教育相談の実施
 - ・QU 調査、いじめ調査による実態把握と早期対応



③ 健康・安全教育の推進

- ◎ 運動好きな児童の育成、体力づくりの推進
 - ・運動に慣れ親しむ活動の充実 (体育の授業の工夫等)
 - ・各種調査等による課題把握と指導方法の改善
- ◎ 防災教育の推進・防災体制の強化
 - ・計画的な防災教育、避難訓練の実施、防災意識の醸成
 - ・保護者と連携した引き渡し訓練の実施
- ◎ 学校内外の安全意識の育成
 - ・各種安全教室、緊急対応訓練の実施
 - ・安全点検、安全で正しい登下校についての指導の充実
- ◎ 健康に対する自己管理能力の育成
 - ・養護・栄養教諭と担任の連携した保健指導・食育指導



④ 特別支援教育の推進

- ◎ 個に応じた指導・校内支援体制の充実
 - ・定例の特別支援委員会及びケース会議の実施
 - ・支援の共有と継続した支援体制づくり
 - ・保護者とのきめ細やかな連携・情報交換
 - ・スクールカウンセラー、川越町相談機関 (ぼっけ・ポレポレ)、医療機関等の専門機関との連携
- ◎ 共に学び、共に育つ教育の推進
 - ・特別支援教育に関する研修会の実施
 - ◎ 共に学び、共に育つ教育の推進
 - ・特別支援教育に関する理解と啓発
 - ・特別な支援の必要な児童に対する理解の推進



⑤ 地域とともにある学校づくりの推進

- ◎ 保護者・地域の力を借りた教育活動
 - ・ゲストティーチャー、学習ボランティア等
 - ・地域教材を活用した体験的な学習の実施
- ◎ 保護者・地域への学校公開
 - ・授業参観、学校公開日、学年・学校行事の公開等
- ◎ 学校・学年だよりやHP等による情報発信
- ◎ 保護者・地域の声を生かした教育改善
 - ・学校関係者評価会議 (年3回)
 - ・児童・保護者アンケート
 - ・学校評価の実施と結果公表
 - ・教育活動の改善



⑥ 教職員の資質向上と健康管理

- ◎ 研修活動の充実 (授業を開く)
 - ・研修主題に基づく計画的な授業研究 (1人1回公開) と日常的な授業研究
 - ・学力向上アドバイザーによる授業指導
- ◎ 組織的な取組、協働を通じたOJTの推進
 - ・運営委員会を中心とした組織の強化・教育改善
 - ・教育実践におけるOJT (sosの声とhelpの動き)
- ◎ 各種研修会・先進校視察等への積極参加と校内還元
- ◎ 職員の健康管理 (過重労働の削減)
 - ・教育的価値による業務見直し
 - ・働き方の意識変革とICTの活用による業務の効率化
 - ・協力体制による休みやすい職場づくり

